

眼科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開し患者さんが拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 増殖糖尿病網膜症における糖タンパク質の局在・発現解析

【研究機関】 北海道大学病院眼科

【研究責任者】 神田 敦宏（医学研究科眼科学分野・特任講師）

【研究の目的】 糖尿病網膜症の病態形成（血管新生・炎症）には、VEGF（血管内皮増殖因子）をはじめとする様々な分子が複雑に絡み合っていることが知られています。現在、糖尿病網膜症の治療法は硝子体手術、光凝固術、抗 VEGF 薬治療が主です。硝子体手術と光凝固術はその効果は明らかなですが、患者さんへの大きな負担があります。また、抗 VEGF 薬治療により病態の改善が認められる症例はありますが、なかには一部、薬剤に抵抗性を示す患者さんも存在します。これまでの研究で糖タンパク質関連分子が腫瘍組織における血管新生に関与することが複数の実験モデルや臨床研究で示されております。そこで、本臨床研究ではこれまでに外科的に切除した硝子体液や増殖膜における糖タンパク質関連分子の発現の解析を行い、糖尿病網膜症の病態形成への関与を明らかにすることを目的とします。糖尿病網膜症における糖タンパク質の役割を明らかにすることで、抗 VEGF 薬治療以外のこれまでとは異なった視点からの新たな薬物治療法の開発に結び付く可能性があります。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

糖尿病網膜症、黄斑円孔、網膜前膜の患者さんで、平成22年1月1日から平成27年4月30日の間に研究用の硝子体液、手術時に切除された組織の保管に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：手術時に切除された組織

（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）

カルテ情報：年齢、性別、疾患名、治療内容、血液学的検査、血液生化学的検査

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院 眼科 担当者 神田 敦宏

電話 011-706-5944 FAX 011-706-5948 (眼科医局)